



令和8年度5月号

大阪市立矢田東小学校

学校だより

～なかよく助け合う子 すすんで取り組む子 つよい体にきたえる子～



「本を読みましよう」 ◆先月4月23日は何の日かご存知ですか。私もよく知らなかったのですが「子ども読書の日」だったそうです。これは2001年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」で毎年4月23日に定められた日ということらしいです◆最近、新聞やニュースによく出てくるのですが、読書が好きな児童生徒の割合は減少傾向にあります。ある調査によると、1カ月間に本を1冊も読まない児童生徒の割合「不読率」は昨年2025年、小学生が9.6%、中学生が24.2%、高校生がなんと55.7%となったそうです。いずれも10年前より3.8～10.8ポイントも増加している結果だそうです。1カ月に1冊も本を読まない高校生は、5割を超えているということになります。これだけ増えた要因の一つに、スマートフォンの所持率や利用時間の増加があるとみられています。確かに通勤電車の中では、高校生が一人でいても集団でいても、一生懸命見ているのは本ではなくてスマホですね。そういう私も最近では本ではなくてスマホの画面を見ていますが…。一応言い訳として、スマホで新聞を読んでいるのですが、◆読書の効果は様々あって、国立青少年教育振興機構が21年に公表した教唆研究によると、「批判的思考力や主体的行動力、認知機能などは、子どもの頃の読書量が多い人は、そうでない人よりも高くなる傾向がある」そうです。まさに4月23日に全国の小学6年生で実施された、全国学力・学習状況調査でも、読書好きであるほど平均正答率は高い傾向があります◆難しいお話をたらたらとしてしまいました。頭がよくなるから、学力テストの点数がよくなるから、だから本を読もう、と言うているわけではありません。ここは勘違いをしてほしくないのです。まあ、本を読んで頭がよくなるのであれば悪くはないですね。ですが、本を読むことの良さってもっともっとあると思うんですよ。世界中のどこにでも行けるし、過去や未来にタイムスリップできるし、正義の味方やスーパーヒーローにもなれるし、プロ野球選手やJリーガーやバレーボール選手、オリンピックのメダリストにだってなれます。空も飛べるだろうし力持ちにもなれます。できないこと、やりたいこと、楽しいこと、うれしいことを本の世界では体験できます。また逆に、実際には味わいたくないつらい思いや悲しすぎる出来事を、あえて経験することもできます。良いことも悪いことも「自分事」として経験することは、これからの人生をきっと豊かにしてくれます。この機会にぜひ、本を読みましよう。

校長 梶原 進

《お知らせとお願い》

①「いじめ・いのちについて考える日」について

5月11日(月)に、「いじめ・いのちについて考える日」を設定しています。児童が、自分を大切にすることや他者への思いやりを育めるよう、大阪市の全小中学校で取り組んでいます。矢田東小学校ではこの日に合わせて、朝会での校長講話、いじめアンケートの実施、スクリーニング会議の実施を予定しています。

②家庭訪問について

5月12日(火)から15日(金)に家庭訪問を実施します。学級担任等が各ご家庭に訪問させていただきます。また、この期間は【B校時】の4時間授業(給食あり)で13時ごろの下校となります。下校後の子どもたちの過ごし方について、ご家庭でお話していただければと思います。

③各種検診について

各種検診が始まっています。検診の結果、医療機関への受診を勧めるお便りを受け取った方は、早いうちに受診していただきますようお願いいたします。

④水筒持参のお願いについて

日に日に暑さが増し、初夏を思わせる日が増えてきました。子どもたちが水分補給をしっかりできるよう、各ご家庭から水筒を持たせていただくようお願いいたします。

⑤創立記念日について

4月16日は、創立記念日でした。矢田東小学校は、今年で創立56周年となりました。これからも、地域の皆様とともに歩んでいきたいと思っております。

